

# 静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	閉塞性黄疸を伴う膵がんと診断され、かつ手術が企図される患者			
② 研究課題名	切除企図膵癌の術前胆道ドレナージにおける 7mm 径フルカバード金属ステントの有用性			
③ 実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022 年 12 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	新谷文崇	所属	内視鏡科
⑥当院の研究代表者	氏名	新谷文崇	所属	内視鏡科
⑦使用する検体・データ	採血データ・内視鏡データ・病理データ・臨床経過			
⑧目的	近年、切除可能あるいは切除可能境界膵がんにおける術前化学療法の有用性が示されてきている。安全に化学療法を行うためには偶発症発生割合の低い術前胆道ドレナージ (preoperative biliary drainage : PBD) が必要である。膵癌の PBD は内視鏡的胆道ドレナージが推奨されているが、ステント径の太い金属ステントは閉塞リスクは低い膵炎リスクであるとの報告もある。そのためより細径の金属ステントが PBD に適している可能性があるかと推測される。			
⑨方法	当院で胆道閉塞を伴う切除企図膵がんに対して初回胆道ドレナージとして、7mm 径 金属ステントを留置した患者を対象とした。検討項目は手技的・臨床的成功割合、早期合併症、手術あるいは 6 ヶ月後までのステント閉塞割合とした。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022 年 4 月 18 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222 (内線 3379)
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長